

# 教育委員会だより

## 大野靖之ライブ&トークを満喫 上ノ国中・高校生芸術鑑賞開催

8月27日(月)、上ノ国町教育委員会主催の芸術文化鑑賞事業が中・高生を対象としてシンガーソングライターの大野靖之さんを迎え、ライブコンサートをジョイじよぐらで行いました。

中・高校生二百五十名余りが見まもる中のオープニング、ピアノにあわせ、高音と裏声が優しく、時には力強い声で一曲を歌い上げました。中・高生にとっては馴染みのない人でしたが、巧みなトークで会場内の緊張も徐々にほぐれ、笑いあり、手拍子あり、ある曲では、高校生との共演?もあり、大いに盛り上がりました。

トークの中で、自分が唄を歌うきっかけになったのは、母に頼まれて嫌々連れて行かれたカラオケボックスで、母や母の友人らには是非歌って欲しいと懇願され

歌ったのが、尾崎豊の「LOVE YOU」。

みんなに褒められ、帰りに尾崎豊のアルバム「17歳の地図」を買った事が、自分を変えるきっかけになったとか。

高校三年生から路上ライブを行い、23歳でメジャーデビューを果たす。この間、母親が乳がんを患い、他界する試練を味わっている。ライブの最後は、家族をテーマにした15分の長い曲「22歳のひとりごと」。「歌詞を十分かみしめて聴いて欲しい」と、ピアノに向かい歌い始めました。

「♪兄が家を出たとき、ぼくは九つ...」アルバムの中にそっとしまっておこう...5人そろって、また笑えたことをぼくはわすれない...かけがえのない、ぼくの家族」熱唱でした。アンコールの拍手も起こり、再びギターを携え、ア

ンコールに応えてくれました。

唄を聞いた中学生は「家族の話と最後の曲に感動した。歌とトークで笑った。感動したり、とても貴重な時間で、あつという間に過ぎてしまった。」と感想を話してくれました。

去りゆく夏の一時を素晴らしいライブコンサートに生徒も大満足のようでした。



大野さんの歌に聞き入りました



熱唱する大野さん

## 小学生対象に サイエンスショー開催!

9月7日(金)、上ノ国小学校を会場に芸術鑑賞事業として、サイエンス・ショーを開催しました。今回の講師は仙台市在住で、防災士、FMいずみのパーソナリティー、阿部清人さんを迎えて、児童らがよこば様々な実験等を行いました。冒頭、緊張を和らげるために、「拍手して手が熱くなるけど、これを何と言う?」「摩擦熱」と元気に答え、会場は少し和らいだ雰囲気になりました。

次に、黄色いビニール袋を使って、空気を入れる実験では4名の児童がその実験に挑戦。10かぞえてどのくらいの空気が入るかを競いました。が、なかなか思うように入らず、講師の阿部先生がわずか一秒くらいで入れてしまうと、会場からは「うわー、すごい」と驚きの歓声が沸き起こりました。ビニール袋をすこし口元から離してぷつと吹くと何十倍もの空気が一瞬に入ることを見せてもらいました。さっそく、傘の袋を使っ

て実験。「初めてわかった」という児童が数多くいました。その後のエネルギーの実験では巨大空気孔にスモークを注入し、スモークの丸い形の輪が出てきた時は、低学年の児童らは大興奮でした。

理科離れが問題になっている昨今ですが、身近な実験を通して好奇心を抱き、理科好きな子が一人でも多く出てくれることを期待しています。



挑戦してみよう!!



みんなもできるかな?